奈良町の
ちょっといいところを
見て知る秋の1週間
ーきたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺ー
奈良町見知ル
2023

奈良町見知ル実行委員会
Newsletter No.11

第2回実行委員会 2023年5月19日(金)

今回の会議は、「ちょっといいところ」のアイデア出し

見知ルの企画は、実行委員会で選んだ「ちょっといいところ」スポットのオーナーに企画参加を打診をするところから始まります。それに先立って2回目の実行委員会では、今年の「ちょっといいところ」スポットを選ぶための密度の濃〜いアイデア出しを行いました。

事前に出し合った「見ル奈良町」「知ル奈良町」「巡ル奈良町」の40以上の案には、昨年の企画に加え、新たなスポットも含めました。それら一つひとつを確認しながら意見を出し合い、大切にしたい3つのことを共有しました。

1つ目は、「そのスポットの人に話をしてもらうこと」。ただ見るだけではなく、そのスポットをよく知る人から話が聞けると「ちょっといいところ」の魅力が倍増する、それが全会一致の意見。魅力的な話が聞けるような工夫をしていきたいです。

2つ目は、「地域の人に関わってもらうこと」。地域の人が企画に関わるスポットを一つでも増やしたいというのは1年目からの想い。認知度がない中で地域の人たちから協力を得るのは難しいため、イベントを実施しながら少しずつ理解を得ようと努めて3年目。今年は、地域の人がお祭りするお堂など、より地域に関わりの深いスポットを1カ所でも増やし、見知ルの楽しさをさらに広げていこうという想いを共有しました。

最後は、「昨年のスポットにも継続して参加してもらうこと」。同じ内容でも良いので、細く長く継続して奈良町見知ルに参加してもらうことの大切さが共有されました。

今後は、「ちょっといいところ」のオーナーに、奈良町見知ルの企画に参加してもらうべく声かけを行っていきます。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学　田中 梨絵

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！

－自己紹介－

高畑にある不空院というお寺の三谷 早苗です。

－今年の感触は？－

高畑は住宅が多いので、ご紹介できる場所が少ないように思っています。でも、それをどのように紹介していくのか、切り口が変われば面白さも変わるのかなぁと思うのと、ちょっとずつ見知ルのことが広まっているので、周りの方にお声かけしやすいかなとも思っています。

－今年の意気込みは？－

そうですねぇ、高畑はずっと私一人なので、できたら見知ルを知っていただいて、皆さん自身も参加していくようなかたちになったら、もっと良いのかなぁと思っています。

不空院　三谷 早苗さん

－自己紹介－

私は「うとうと」という料理屋をやっていて、あと奈良まちづくりセンターの理事もしています、野村 修二です。

－今年の感触は？－

去年よりは話としては深くはなってきていると思う。ただ見てもらうだけじゃなしに、要するに「もの」に対する物語性をみんなにわかってもらうっていうね。そこも踏まえて聞いてもらって見てもらうことによって、より魅力が倍増する、そこに見知ルをやる意義があるように思うね。

－今年の意気込みは？－

私は、直接参加することがなかったので、参加できるところがあれば積極的に参加していけたらなと思っています。

うとうと・奈良まちづくりセンター　野村 修二さん

次回の実行委員会

第３回　2023 年 6 月 16 日（金）
第４回　2023 年 7 月 21 日（金）

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.11

2023 年 6 月 15 日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）
編集担当者：田中 梨絵（天理大学）
連　絡　先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp

© 奈良町見知ル実行委員会 2023